

平成28年度 年度重要テーマ研修

～マイナンバー、複数税率、クラウド会計、FinTech～ これからの変化に対応し、危機を突破する事務所経営戦略とは

平成28年6月22日(水) 13:00～18:00 場所: 京都テルサ

京滋会で3回開催された年度重要テーマ研修には総勢247名にご参加いただきました。今回の開催しました「年度重要テーマ研修」では、自計化をベースに付加価値の高い業務が求められると各講師の先生方が仰っています。「経営助言」を事務所標準業務とすることを目的に、「事務所総合力強化プロジェクト」も進んでいます!!
当プロジェクトの各種研修会も是非ともご参加お願いいたします!

第一部 自計化による顧客サービスの向上 ～自計化における初期指導体制について～

なぜ自計化を推進するのか

記帳代行のリスク

銀行の評価

経営者の数値への関心

経理・経営者の意識改革

経営者が自分の会社を数値で話せる

事務所の効率化

継続MAS・書面添付

何といってもめんどくさい!



TKC中部会松原智恵蔵先生

記帳代行では他の事務所との差別化もできません!!

当事務所ではパソコンの操作さえできれば自計化できるように、オリジナルのマニュアルを用意しています。自計化できない理由で多いのは、仕訳・簿記がわからないということではないでしょうか? 仕訳辞書を活用すれば、仕訳の仕組みも理解でき、試算表の意味も理解でき、苦手意識もなくなります。自計化について、以下のメリットが事務所で納得できていますか?

監査に時間がかからない

顧問先が数字を把握できるようにする

毎月監査報告をするのでなぜこうなったか理解できる

納税予測ができるので決算時の文句を言われない

銀行へアピールできる

監査担当者のコミュニケーション能力が上がる

記帳代行先の税務調査で不安がない

監査で非違がないと経理担当者は喜ぶ

今日資料渡すから明日中に! という急な仕事への対応がなくなる。



さらに、自計化ができれば継続MASと書面添付まで可能になります。関与先からの「自計化をすることで事務所が楽になるなら報酬下げてよ」という声に対しては、継続MASと書面添付という付加価値の高いサービスに置き換わることを説明できればなりません!

【受講者の声】・事務所独自のマニュアルについて作成を検討したい。
・自計化のメリット・デメリットが整理できました。

第二部 事務所総合力の強化による月次サービスの向上

外部環境 (AI・クラウド会計・FinTech) の変化にどう対応するか!

消える職業・なくなる仕事 「税務申告書代行者・データ入力作業員・簿記、会計、監査の事務員」

所得税の申告書などもマイナンバーとの紐づけでなくなるのではないのでしょうか?

法人税も赤字の会社の場合には簡単に作れるはず。AIの登場で、人間の仕事が減っていきます!

会計についてもインプット部分について、FinTechによって人の部分は不要になっていくなか、そのインプットされたデータの信用力をどのように高めるかが重要で、

信用力を高めるためにも巡回監査が必要です。月次巡回監査を行い、適時性・正確性を担保し差別化を図りましょう。

京都、滋賀の金融機関にも
セミナーにご参加いただき
大変好評をいただいております!!

金融機関へのアピール!!

職業会計人がチェックしたデータと、そうでないデータの違いを金融機関に理解してもらうことが重要ですが、これについてはTKCが金融機関向けFinTechセミナーを開催中です!!

金融機関はTKC会員の巡回監査を高く評価しており、そのデータを求めています。しかし、TPS1000だけ利用している場合には、この金融機関向けのFinTechサービスが利用できません! 今のうちに会計をTKCシステムに移し替えましょう!!

【受講者の声】・TKCのFinTechサービスを全関与先に案内したい。
・FinTechは脅威ではなく、自計化のチャンスだと気づくことができた。